



老人クラブの  
応援マーク

## 仮設住宅にクラブが設立! 被災会員を招待した交流も行われています

### 仮設住宅に老人クラブ誕生

福島県郡山市内、富岡町富田仮設住宅

郡山市の仮設住宅と借り上げ住宅に避難している富岡町の高齢者により、「富岡町富田仮設・借り上げ住宅老人クラブ」が立ち上げられ、3月8日に設立総会が開催されました。福島県老連が、仮設住宅における新たなクラブづくりを提唱して以来、初めて結成されたクラブです。当日は来賓として富岡町長、町議会議長

をはじめ、県老連から渡部会長、渡辺事務局長も出席して祝



設立総会



辞を述べました。

集まった会員は約130人、60代の若い人も大勢参加しています。当日も60代の方から「今2人加入したい人がいるけどいいでしょうか」と発言があったそうです。この模様は、地元新聞に掲載されたほかテレビでも放映されました。

### 阪神・淡路大震災の地、 兵庫へふれあい交流の旅

宮城県石巻市老連 ↓ 兵庫県老連

兵庫県老連は宮城県内の老人クラブへ、元気袋をはじめさまざまな品を支援しています。全国事務局長会議にて坂本事務局長が石巻市を訪ねた縁もあり、石巻市内の被災された会員を中心に19名を兵庫へ招待して、ふれあい交流会を実施しました。

#### 交流会

は、芦屋市老連と淡路ブロックの各役員・女性リーダー



芦屋市老連との交流で山中芦屋市長あいさつ



「慰霊と復興モニュメント・1.17 希望の灯り」を見学

と2回行われました。兵庫の会員からは阪神・淡路大震災後の取り組みが話され、石巻市の会員は「同じ悲痛を見つめた者同士、みなさんの体験から学び、今年を復興元年としたい。手の届くところから始めて、老人クラブを必ず復活させる」と話されました。

2月27日から3日間の旅では、兵庫県老連建立の阪神・淡路大震災記念碑を訪れ、南あわじ市老連管理の梅林見学では、郷土料理のちよぼ汁が振る舞われたり、懇談会場で淡路島3市老連が太鼓や民謡を披露する一幕もあり、双方にとって思い出深い交流になりました。